



『読書のすゝめ』

日本大学図書館歯学部分館長 高橋 富久

ここ数年、文章を書くことを不得手とする学生が多く見受けられます。私自身も文書を書くことは苦手なので、そのような学生の気持ちは良くわかります。文章を上手く書く能力は生まれ持った才能かもしれませんが、ある程度の努力も必要です。最近ではCBTや国家試験の影響もあり、日々の試験でも論述問題の出題が少ない傾向が見受けられます。試験やレポート等でしっかりした文章を記述できる学生に聞くと、平日頃から読書をする習慣を身に付けていることがわかります。やはり普段から本に触れる機会が多い学生は、文章を書くときも理論立てた文脈を創る能力があるようです。

「本は人生を豊かにする」と言う言葉があるように、読書を通じて感性や創造力が鍛えられ、物事を論理的に考えることができるのは明らかです。学生の皆さんに伝えたいことは、隙間時間に少しだけスマホを置いて、読書をする時間をつくって欲しいことです。通学時間、あるいは就寝前の少しの時間でも良いです。本を通じて思いがけない発見をする機会もあり、日々の生活が今まで以上に充実するのではないのでしょうか。本学部図書館では常に学生目線に沿った選書を心がけています。最近では電子ブックの購入にも力を入れています。是非とも当館を有効利用して、人生を豊かにする多くの知識を身につけて下さい。 (教授 解剖学第I講座)



歯学部開講式

令和5年度歯学部開講式は、4月3日(月)本館大講堂(創設百周年記念講堂)において、新入生128名を迎えて挙行されました。

本田和也歯学部長からの式辞があり、小幡純同窓会会長及び西田香後援会会長が祝辞を述べられました。続いて在校生を代表して齋藤円さん(第5学年)が「歓迎の詞」を、新入生を代表して三原颯さんが「誓いの詞」を述べました。



齋藤円さん(第5学年)

【新入生128名の内訳】

男子64名(50%)、女子64名(50%)、現役62名(48%)、既卒等66名(52%)、一般選抜入学者84名(A方式59名、N方式第1期7名、同第2期12名、C方式第1期3名、同第2期3名)、学校推薦型選抜(付属高等学校等)20名、(公募制)9名、校友会子女選抜14名、留学生選抜1名

出身高校数95校(外国の学校等を除く):日本大学第二6名、日本大学第一、千葉日本大学第一 各3名、日本大学習志野、日本大学豊山女子、土浦日本大学 各2名、日本大学明誠、日本大学鶴ヶ丘、日本大学藤沢、日本大学三島、日本大学山形、長野日本大学、長崎日本大学、佐野日本大学、佐野日本大学中等、桐蔭学園、獨協、巣鴨、西武学園文理、栄東、秀明 ほか

大学院歯学研究科開講式

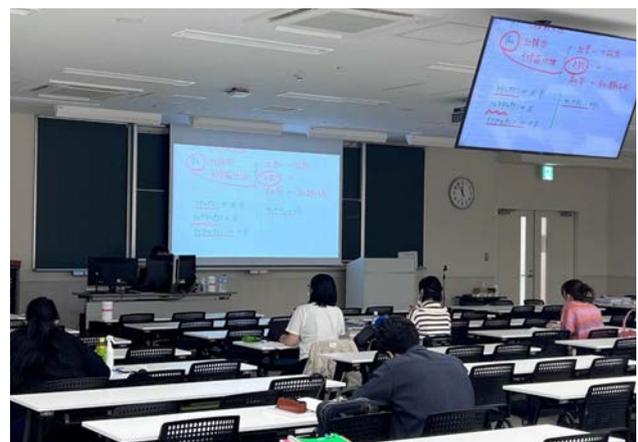
令和5年度大学院歯学研究科開講式は、新入生26名(うち社会人4名)を迎え、本田和也歯学研究科長をはじめ関係教職員出席のもと、4月7日(金)本学部4号館大会議室において挙行されました。厳粛な雰囲気の中、本田和也歯学研究科長からの式辞、続いて鈴木直人研究担当からの祝辞がありました。新入生を代表してZHOU YUEさんが「誓いの詞」を述べ、式終了後には修学及び研究等についてガイダンスが行われました。

既卒生に対する国家試験合格支援活動について

卒後教育担当 武市 収

国家試験合格支援活動小委員会では、3月の国家試験解説動画の配信を始め、臨床研修歯科医のマッチング支援、必修対策ミニ講義、学内外講師による国家試験特別講義や特別実習を行っています。また、委員一人が6~7名の既卒生を担当し、質問事項への対応や国家試験願書作成のアシストなど、個々に寄り添った対応を行っています。年末年始には自習室を開放し、勉強できる環境を整えるなど、国試直前まで全力でサポート致します。

(教授 歯科保存学第II講座)



出身高校の所在地県別入学者数:東京40名、神奈川15名、埼玉12名、千葉6名、栃木5名、茨城、長野、静岡 各4名、北海道、広島 各3名、宮城、山形、岡山、福岡、佐賀 各2名、青森、秋田、福島、群馬、新潟、富山、山梨、愛知、大阪、兵庫、愛媛、長崎、熊本、鹿児島、沖縄 各1名 外国の学校等 7名

登院式を終えて



角 賢典

ついに自分も先輩方と同じように、憧れの院内着を着て臨床実習が始まりました。院内に入り医療を学ぶことができる期待、そして今までの実習とは異なり1人の患者さんを相手にしない

といけないという不安と共に令和5年4月1日、百周年記念講堂で登院式が行われました。

令和2年から対面授業が制限され、友人に会うこともできず、なかなか思うように授業や実習を受けることが難しかった大学生活ではありましたが、その環境の中でオンライン学習といった新しい授業スタイルを使ってこれまで学修をしてきました。そして今までの先輩方とは違う環境ではありましたが、その中で培ってきた学修の集大成であるCBT、OSCEを突破し、我々5年生一同はStudent doctorとして臨床実習に臨むこととなります。

臨床実習では、先生方の診療を間近で見ることが多く、今までに学修した知識を「どのような理由でこの処置をしていくのか？」など、実際に先生の意見を聞き、そのうえで治療を見ることで知識の定着ができます。また不安のなか来院された患者さんとの信頼関係を築くことがどれほど重要なのか、そして先生方がどのような姿勢で患者さんと向き合い医療を提供していくのかを間近で見て、日々医療の難しさを学生ながら痛感しています。

今年1年のなかで知識や技術を得ることはもちろんではありませんが、自分は「歯科医師になる」という思いを胸に患者さんと真摯に向き合い、臨床実習の中で将来自分がどのような歯科医師になりたいのかをこの1年で考えていきたいと思っています。そして今度は先生方が着ておられる、NUSDと刺繍されている白衣に袖を通すことができるよう日々勉学に勤しんでいこうと思っています。ご指導ご鞭撻の程を何卒よろしくお願いいたします。(第5学年)

本年度のクラブガイダンスについて

クラブ協議会会長 佐藤 陽大



令和5年4月15日、本館7階百周年記念講堂にて、本年度のクラブガイダンスを行いました。

正常な活動ができるようになった最初の年ということもあり、一から作り上げなければならなかったのも、どのクラブも

準備がとても大変だったことと思います。

本ガイダンスでは、各クラブの代表が、新入生に向けて自クラブの特徴、活動内容などについてビデオやパワーポイントを用いてわかりやすく説明しました。各クラブとも新入生によりわかってもらえるよう工夫をこらした内容だったと思います。また、全体でのガイダンス終了後、各教室に分かれて、それぞれのクラブが個別に更に詳しく説明を行いました。すべてが手探りで前例がなく、クラブ協議会はもとより、各クラブの学生も戸惑いながらの準備でしたが、有意義なものとなりました。

新入生には、様々なクラブ活動のなかで自分に合うものを選び、充実した学生生活を送ってくださることを切に願っています。(第5学年)

球技大会を終えて

球技大会実行委員長 山岸 佳子

制限のない球技大会を行うのは4年ぶり、私たち第5学年が1年生の時以来となります。伝統ある球技大会を次の世代へ引き継ぎ、より良いものにしたいという思いで準備を進めてまいりました。個人的に、クラブ活動、院内実習、試験勉強と球技大会運営を両立させるのはかなり大変で、精神的、体力的に辛いこともありましたが、担当の先生方、職員の方々、実行委員の学生の皆さんのおかげで大会を成功させることができましたと共に、球技大会を次の世代に引き継ぐという私自身の目標も達成することができたと思います。

今年度、どの競技も盛り上がり、参加してくれた皆さんからは、楽しかったという嬉しい声も多くあったのですが、高学年の参加率が低かったことは残念な点でした。来年度は、さらに多くの皆さんに参加していただき、より熱気のある大会になるよう願っております。

(第5学年)



第1学年オリエンテーション

「オリエンテーションを終えて」

オリエンテーション準備委員会委員・

第1学年担任 佐藤 紀子

令和5年度のオリエンテーションが無事に終了しました。日本大学歯学部への入学が決まった学生が、初めて大学に登校する日におこなわれる「新入生オリエンテーション」、授業が開始し、少しずつ大学での毎日に慣れ始めてきた頃、軽井沢において1泊2日で開催される「第1学年オリエンテーション」、この二つを、本学部では「オリエンテーション」と呼んでいます。

4月3日に実施された新入生オリエンテーションでは、翌日から始まる授業に迷うことなく参加できるよう情報提供をおこなう学務ガイダンス、安心して充実した学生生活が過ごせるようアドバイスする学生生活ガイダンスがおこなわれました。また、同日、百周年記念講堂において開講式が挙行されました。

第1学年オリエンテーションは、4年ぶりに宿泊を伴うかたちで、4月21日、22日に軽井沢研修所にて開催されました。本学部の教育課程や学生生活を理解し、円滑な就学を期すること、親睦を深め、相互に知り合い、友人をつくること、社会や団体生活の基本的なモラルやマナーを身につけることを目的に企画が立てられました。(准教授 健康科学分野)

「開講式挨拶」

三原 颯

開講式での新入生代表挨拶のお話を頂いた時、またとない機会だと思い喜んで引き受けた。私は人前に立って何かをするということが得意ではなく、不安であったが貴重な体験ができたことに満足し、感謝している。実は、挨拶をすることによって友達作りのアドバンテージにもなると思っていた。しかし、誰も私が挨拶をしたことを覚えていなかった。思い返せば私も高校時代、誰が挨拶したか知らなかった。そんなものだと、少しがっ



謝している。実は、挨拶をすることによって友達作りのアドバンテージにもなると思っていた。しかし、誰も私が挨拶をしたことを覚えていなかった。思い返せば私も高校時代、誰が挨拶したか知らなかった。そんなものだと、少しがっ

かりもした。そのように友人作りに苦戦している中、1泊2日でのオリエンテーションが軽井沢でおこなわれた。恥ずかしながら、夜、部屋の仲間と騒ぎすぎで怒られてしまったが、友人と仲を深めることが出来た。またグループでの意見交換や作業、散策をすることによって、より多くの人と関わりを持つことが出来た為、非常に有意義な時間となった。

(第1学年)

「歯学部でのスタート」

大石 真理子

カリキュラムも何も分からない状態でオリエンテーションに参加した。以前に卒業した大学とは異なり、選択式の授業などもなく、時間割も決まっているため、大学生になった実感はいまひとつ薄かったが、話を聞くうちに少しずつ勉強への向き合い方が見えてきた。また、毎年この時期に履修登録の悩みに頭を支配されていたことに比べると遥かに楽なシステムであり、与えられたことをひたすらこなしていく毎日にやりがいを感じてきた。大量の本とパソコンを背負って歩いてきたかつての日々からすると、授業もオリエンテーションもすべてがiPadひとつで完結するのは非常に画期的で、駅から近い学校の立地も相まって心身ともに勉強に集中しやすい状態になったと感じる。そうした環境に感謝しながら、これから勉学に励みたいと思う。(第1学年)



新入生オリエンテーションの様子

「担任として軽井沢オリエンテーションに参加して」

第1学年担任 小笹 佳奈

4月21日から22日にかけて、本学軽井沢研修所にて、「飛び出そう新たな学生生活へ！！」をテーマとした第1学年オリエンテーションが開催され、担任として初めて参加しました。主となる企画が2つありました。企画Ⅰは「充実した学びのために」を主題とし、事前に校内でリーダーの選出と学修面に関する事柄の発表テーマを決めるグループワークがおこなわれました。研修所では、事前に決めたテーマについて互いにアイデアを出し合い、啓蒙ポスターを作成しました。皆で協力して一つの成果物が出来上がっていく過程は、学生にとって非常に有意義な時間であったと思います。一方で企画Ⅱでは、「よりよい学生生活のために」をテーマとし、上級学年学生（事前に準備された動画での参加）、大学院生、教員、それぞれの立場から学修や学生生活についてのアドバイスがおこなわれました。学生たちにとっては年代の近い学生や大学院生、本学を卒業した教員の話は非常に貴重であったと思われます。このオリエンテーションを通して、自主的に学ぶ姿勢や積極性がさらに養われたのではないかと思います。

(助教 口腔内科学講座)



「第1学年オリエンテーションを終えて」

久部 邦子

4年ぶりの実施となった1泊2日の校外研修は天候にも恵まれ、総勢173名が4台のバスに分乗り、片道3時間半の道のりを軽井沢研修所へと向かった。車中は修学旅行のような光景でコロナ禍の憂さを晴らすかのようなようだった。到着後、20グループに分かれたグループワークでは、事前に作成した企画書をもとに翌日発表する啓蒙ポスターを共同編集で作成、お互いを知る絶好の機会となった。2日目は旧軽井沢に繰り出し、グループでテーマを決めて散策を楽しんだ。帰途につく車中は、知り合って間もない仲間たちと寝食を共にし、深夜まで語り合い続いたのか物静かさに包まれていた。都会の喧騒から離れ、過ごした2日間は実りあるものになったのだろうか。新しい環境には慣れただろうか。6年間苦楽を共にする仲間達と互いに切磋琢磨して欲しいと思う。

(参事補 学生課)



軽井沢研修所において



軽井沢研修所へ向かうバスに乗りこむ様子

第116回歯科医師国家試験を終えて

学務担当・学習指導委員会委員長 林 誠

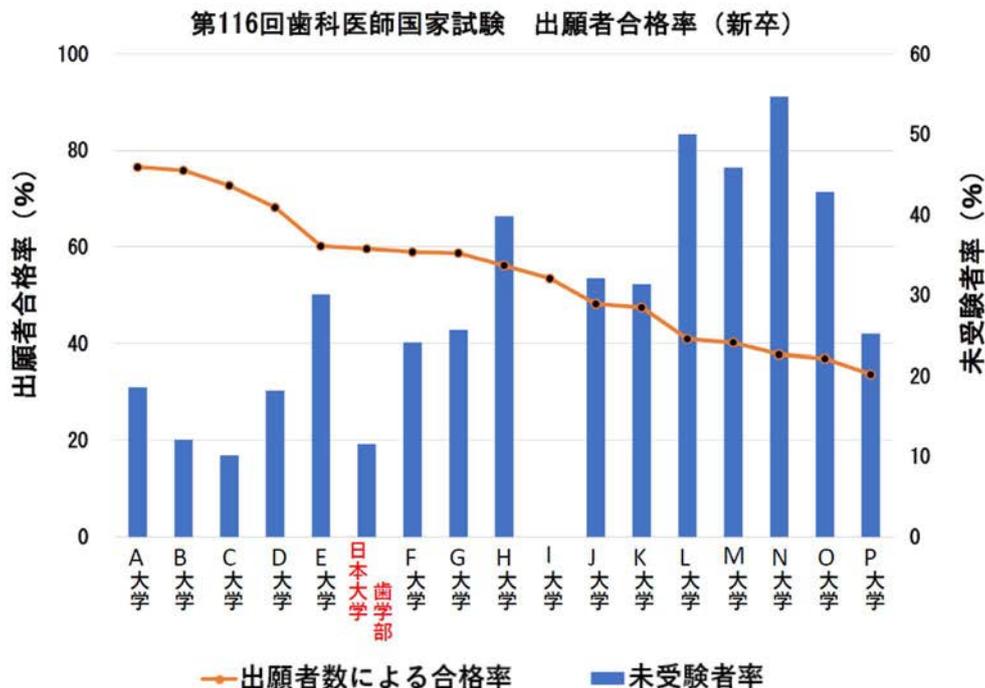
第116回歯科医師国家試験は、令和5年1月28日（土）と29日（日）の2日間の日程で実施されました。令和4年度の6年生は新型コロナウイルス感染症の拡大のために様々な制限を余儀なくされてきましたが、感染状況がある程度落ち着いてきたことを受け、3年ぶりに国家試験当日のクラブの後輩による激励セレモニーを、感染に注意を払いながら行うことができました。

国家試験の結果ですが、3月16日（木）に厚生労働省より合格発表がありました。今年度は受験者総数が3,157名であったのに対し、合格者総数は2,006名と、2,000人を上回る結果となりました。しかし、第107回以降の2,000人前後の合格者数に変化はなく、歯科医師国家試験の選抜化の様相は継続されていると思われました。全国の合格率は63.5%（新卒77.3%、既卒42.2%）で、昨年より1.9%上昇しました。国公私大別では、国立73.6%、公立70.8%、私立60.1%であり、本学の合格率は56.0%（新卒67.4%、既卒42.1%）で新卒は昨年を2.3%下回り、私立歯学部17校中第14位の結果でした。近年、厚生労働省は合格率算出の分母となる受験者数以外に出願者数も公表しており、受験の出願をしたが実際には受験しなかった（できなかった）学生数が算出可能となっています。そのため、私立歯学部の未受験者率（下図棒グラフ）と出願者数を分母にした場合の合格率（下図折れ線グラフ）を算出してみました。その結果、私立歯学部の未受験

者率の平均は27.8%ある中、本学は11.5%であり私立歯学部17校中第3位の高い受験者率でした。また、私立歯学部の出願者の合格率の平均は54.4%でしたが、本学は59.6%であり、私立歯学部17校中第6位の合格率でした。本学では、歯科医師国家試験に合格できる可能性が認められた学生については積極的に卒業させ、受験してもらう方針を現在でも貫いております。今後もこの方針を維持しながら、学習指導委員会では厚生労働省の発表する合格率を少しでも高くできるように努力したいと考えております。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下がったことを受け、対面授業を中心としたコロナ禍前の学修環境に戻しております。そのため、学生、教職員間の密な連携やコミュニケーションが取りやすい環境となり、コロナ禍よりもさらに質の高い授業が可能になったと考えております。また、対面授業が再開してもこれまでの感染症対策で構築したデジタルテクノロジーを適宜残すことによって、高い学修効果が得られると思います。国家試験に合格するためには6年次から勉強を始めても間に合いません。合格のためには低学年の早い段階から学ぶ習慣を確立させ、学修を積み重ねていくことが一番の近道となります。学生の皆さんは基本的な知識と柔軟な問題解決能力を習得するために、低学年からの努力を怠らないでください。

（教授 歯科保存学第Ⅱ講座）



研修歯科医の採用について



卒後教育担当 武市 収

国家試験合格後、歯科医師臨床研修を受けることが義務化されました。歯科医師として活動するには、臨床研修は必ず通らなければならないステップです。日本大学歯学部附属歯科病院では、under graduateでの知識や経験が活かせるよう、シームレスな研修カリキュラムを充実させており、時代のニーズに即した研修を受けることが可能です。そのため、学内のみならず、学外からも高評価を得ており、毎年200～250人ほどの研修希望者が採用試験を受けております。

研修歯科医は総合診療科に所属し、管理型臨床研修施設（日本大学歯学部附属歯科病院）での研修を基本に、様々なカリキュラムに沿って臨床を学びます。100を超える協力型臨床研修施設では臨床経験豊かな指導歯科医のもと、様々な診療に従事するなど、多彩なコースが選択可能です。

SCOPRコースでは、管理型臨床研修施設と協力型臨床研修施設で研修を行います。管理型臨床研修施設では、口腔外科、補綴科あるいは保存科で研修を行うため、広く一般歯科臨床を学ぶことが可能です。CDコースでは、管理型臨床研修施設内の口腔診断科および総合診療科で研修を行い、指導歯科医の指導のもと、初診から治療終了まで総合的な診療にあたります。また、協力型施設Ⅱへの短期研修も可能となり、幅広い研修が可能です。

この他の短期研修として、歯科矯正科、小児歯科、摂食機能療法科、歯科放射線科などの診療科や島しょ地区（伊豆諸島）での離島診療研修、保健所および東京都心身障害者福祉センターでの研修が可能ですので、非常に自由度が高いプログラムとなっております。

このように、学部教育で習得した歯科診療に関する知識、技能および態度を臨床の場に結びつけ、歯科医師としての基本的診療力が身に着く研修を受けていただきます。歯科医学および歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、様々な症例に対応できるよう、総合的な判断力と知識・技術を習得できる人材を育成して参ります。

（教授 総合歯科学分野・歯科保存学第Ⅱ講座）

歯科医師臨床研修を終えて

岡野 真之

総合診療科での1年間の臨床研修を修了しました。協力型（Ⅱ）臨床研修施設での研修も本年度から組み込まれたことにより、地域密着型の歯科診療や小児歯科専門の研修も経験できました。大学の研修では、患者個々の問題点に応じた治療計画を立案し、指導歯科医と密に連携をとることで、安心安全な医療を実践することができました。時には辛く感じた日々もありましたが、指導歯科医の先生方の熱意とともに、自分の未熟な部分と向き合い、目標を設定することで乗り越えることができましたと思います。最後になりますが、総合診療科の指導歯科医の先生方をはじめ支えてくれたスタッフと同期の仲間へ感謝いたします。（本学部卒業）



鈴村 紗央

私は3か月管理型臨床研修施設、9か月協力型臨床研修施設で研修を行いました。専門診療科ではその科でしか学ぶことのできない治療がとても印象的でした。また、新しい環境での研修で不安な気持ちがありましたが、協力型臨床研修施設の実施責任者である松崎辰男先生の温かい指導のおかげで、歯科医師としての自覚が芽生え、現在でも日々自己研鑽に努めております。最後に、研修で出会った先生や友人に感謝し、研修期間に学ばせて頂いた貴重な経験を今後の歯科医師人生に役立てたいと思っております。（他大学卒業）



第55回 全日本歯科学生総合体育大会



歯学体正評議委員 前田 匠

全日本歯科学生総合体育大会とは国内29校全ての歯学部・歯科大学が最大26の競技に参加する体育大会であり、歯学体・オールデンタル・デンタルと様々な呼称があります。我が日本大学歯学部は前回大会で総合準優勝を果たしており、過去にも総合優勝9回、総合準優勝10回と数々の功績を有しています。

そんな歴史と伝統のある歯学体が4年ぶりの開催となりますが、本大会は新たな伝統を作るチャンスであると私は考えています。勿論、過去の伝統や功績は継承すべきですが、大会の雰囲気・形作りをするのは今年の世代です。また、本大会は次年度以降の指標になると思います。そのためにはまず競技を楽しむことが重要です。全力で楽しみ勝利を目指す姿が結果をもたらすと信じ、各々の目標に向かっていただけたらと思っています。

本大会に出場する皆さんを評議委員としてサポートさせていただきますので歯学体のことで何かありましたらご連絡下さい。よろしくお願い致します。

(第4学年)

学生会から



学生会会長 齋藤 円

本年度、学生会会長を務めることになりました歯学部5年の齋藤円です。

学生会の主な活動には、先生方からの連絡を受け学年全体に連絡を行う、また、各学年のクラス委員と普段から連絡を取り合い、様々な意見の取りまとめ、意見の交換などを行っております。

また、昨年度から、各学年で自主的な学生による学修組織を立ち上げることで、上級生が下級生に勉強のアドバイスを行うような勉強会も行われています。これを機に、他学年の学生同士が交流を深めつつ、より学びの深い学生生活を送れるのではないかと考えております。

コロナ禍であった数年前と比べて、学生会での活動も増えつつあり、授業形態もコロナ前と同じような形になってきました。今後とも、学生の皆様がより良い学校生活を送れるよう、活動の幅を広げていきたいと考えております。短い間ではありますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。(第5学年)

桜歯祭に向けて

桜歯祭実行委員長 西出 怜央



昨年に引き続き、桜歯祭を盛り上げます4年の西出 怜央です。

昨秋3年ぶりに再始動した桜歯祭は、コロナ禍により飲食提供や芸能人企画が見送られる中、制限された環境でできることを模索し全力で取り組みました。

「いちにち歯医者さん」は一般の方々が型取りや切削などを体験し、歯科治療への理解を深めた有意義な企画となりました。

一方で、運営各部署との調整連携不足など反省点も多く、副委員長だった私に悔しい思いが残りました。

今年はそれをバネに、コロナ5類移行に伴った新企画の立案、従来のイベント練り直しなど、パワーアップした魅力ある桜歯祭を創り上げようと準備に勤しむ日々です。

「今」だからできる新たな世代の挑戦、ご期待ください。本学部生はもちろん参加者の皆さまに楽しんでいただける2日間をめざしてまいります。10月6、7日、ご来場を心よりお待ちしております。

(第4学年)



学生支援室より

学生支援室では、皆さんが充実した学生生活を過ごせるように、様々な相談に応じています。どんなにささいなことでも、気になることや困っていることがあれば、気軽にご相談ください。

電話相談【03-3219-8051(支援室直通)】

ご家族からのご相談も受け付けています。内容について秘密が漏れることは一切ありませんのでご安心ください。支援室は3号館7階にあります。月曜日の昼休みは、本学教員が、水・木・金曜日の10時～17時と火曜日の11時～18時は、日本大学本部学生支援センター所属の臨床心理士が相談を担当しています(曜日ごとに担当するカウンセラーが異なります)。

3号館7階



新事務局長紹介

就任にあたって



事務局長 齊藤 政之
歯学部の皆様、5月10日付けで文理学部から異動して参りました事務局長の齊藤政之と申します。どうぞよろしくお願い致します。

昭和59年の4月に本学職員としての道を歩み始めた私ですが、初任が1号館の1階にあった歯学部図書館事務課でした。

学部長が佐藤三樹雄先生、図書館長が戸田善久先生(後の学部長・副総長)の時代になります。

就任早々、当時の上司でありました大久保泰雄図書館事務課長から図書館司書の資格を取得してくるよう申し付けられ、西巣鴨にある大正大学に3ヶ月ほど通い資格を取りました。

図書館事務課では、図書館長の戸田先生に大変お世話になりました。時折り呑みにも連れて行って頂き、終電を逃してしまった際には、先生のご自宅に泊めて頂いたこともございました。

図書館事務課で12年勤務した後、当時は3号館の1階にあった庶務課に学部内異動となり、3年ほど勤務して平成11年に本部の総合学生部に異動となりました。

以来、本部の4つの部署(総合学生部・保健体育事務局・人事部・大学院法務研究科)で約17年、文理学部で6年半勤務しまして今日に至っております。

およそ四半世紀振りに20代・30代を過ぎた懐かしい古巣に戻ることが出来て、感慨深いものがあると同時に、歯学部の将来や学部財政のことなどを考えると身の引き締まる思いでございます。

歯学部長も本田和也先生から新たに飯沼利光先生に代わられることが決まりました。飯沼先生とご一緒に私がこれまで培った経験や知識を歯学部発展のために活かすことが出来れば、若い時に育てて頂いた歯学部にも少しでもご恩返しができるのではないかと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

いま夢中です、
この仕事!

霧中の宝を掘り出す、 私の夢中な仕事



山本 安希子

私の仕事は、教育、病理診断、そして基礎研究である。この中で私が直接的に最も時間を費やし、熱意を持って取り組んできた、つまり夢中になっているといえるものは研究だろう。研究は宝探しに似ている(と私は思っている)。人によって捉え方は違うが、私にとって研究活動は、情報収集を行い、こうかもしれない、ああかもしれない、そうだったら面白いなと頭の中で仮説を立て、すなわちどんなお宝がどこに眠っているのかを想像し、そしてそれらが実際にはどうなのか、金銀財宝がザクザク埋まっていたのか、それともダイヤモンド似の残念なガラスの破片だったのかといったことを、さまざまな角度から実験を行って検証し、新しいことを少しずつ明らかにしていく活動である。これは、非常にわくわく、ドキドキする。

しかし、徳川の埋蔵金がなかなか発掘されないように、大物を匂わせる結果が出たとしても、世紀の大発見だったという経験は未だ無い。これからも無いかもしいし、あるかもしれない。いや、あるに違いないと信じる。研究の何に、何処に夢中なのかと聞かれたら、私の場合、常に希望をもって向かい合うことが出来るどころと答えたい。

私はこれまで、歯科分野で最も患者数の多い自己免疫疾患である、シェーグレン症候群について、その発症メカニズムの解明や、現在は細胞死に関わる炎症に関連する研究を行っているが、自分の研究成果をもって社会に貢献することが出来れば、それは人としてかなり幸福な仕事ではないだろうか。また、このような研究活動を大学教育にも存分に活かしていけたらと考える。

(助教 病理学講座)

実験動物慰霊祭

4月22日（土）、歯学部実験動物慰霊祭が両国の回向院で執り行われました。春の暖かい気候のなか、教職員、大学院生、学部学生ら約80名が参加。住職からの法話の後、心身に染み渡る読経に続き、本田学部長、筒井事務局長の指名焼香と参列者の焼香が行われ、本学部の教育や研究のために供された動物の冥福を祈りました。慰霊祭を終えるにあたり本田学部長は、参列への御礼を述べるとともに、「動物実験を行う際は3Rの原則（代替・削減・改善）を徹底し、実験動物への感謝の気持ちを忘れずに取り組んでほしい」と挨拶されました。



第75回日本大学 歯学会総会・学術大会

5月21日（日）、歯学部創設百周年記念講堂において、日本大学歯学会総会・学術大会が行われました。学術大会での発表演題数は特別講演1題と一般講演17題でした。特別講演では基礎自然科学分野山岡大教授が「物理学の歯科医学への応用“歯科用医療機器開発への挑戦”」を発表されました。また、一般講演ではこれまで研鑽した研究の成果を発表することで、若手研究者にとって有意義な場となりました。

総会では令和4年度決算・令和5年度予算を含む全案件が承認されたほか、奨励賞授与式が挙行され、伊藤恵吾（歯科補綴学第Ⅲ講座）、中世大嗣（歯科補綴学第Ⅲ講座）、小林達朗（歯科補綴学第Ⅲ講座）、相馬千紘（小児歯科学講座）、飯田理人（摂食機能療法学講座）の大学院生5名が表彰されました。

歯学部進学相談会

第1回進学相談会を6月18日（日）に開催しました。全体説明会をはじめ、校内見学を行った後、希望者に対して個別相談及び校友子女見学全体説明会を実施しました。また、在校生との対話コーナーを設け好評を得ました。

引き続き、以下の日程で実施します。

	開催日	定員（予定）	受付開始	時間
第2回	7月 9日（日）	各回150名 ※同伴者2名まで ※定員には同伴者を含む	各回 9:30	各回 10時 開始
第3回	8月20日（日）			

※実施内容、申込方法等は歯学部ホームページを御確認ください。

●Webオープンキャンパス

歯学部ホームページで、歯学部紹介や模擬授業の動画、バーチャル校内見学を公開しています。

●詳細は歯学部ホームページをご確認ください。

【問合せ先】

歯学部 教務課

03-3219-8002 E-mail: de.academic@nihon-u.ac.jp

専門学校進学相談会

●令和5年度進学相談会日程

	開催日	時間	場所
第3回	7月 9日（日）	10:00～13:00 附属歯科技工専門学校 予約制 (当日参加も歓迎)	日本大学 歯学部 本館内
第4回	8月27日（日）		
第5回	10月 7日（土） 駿技祭 翔衛祭	附属歯科衛生専門学校 完全予約制 予約電話 03-3219-8007	専門学校 講堂

※令和5年10月7日（土）については、個別相談と学校見学のみ実施

場 所：日本大学歯学部3号館

概 要

●個別相談：本学専任教員が各種相談を承ります。

●校内見学：講義室、実習室等を見学します。

●体験実習：技工専門学校：技工操作の一部として金属の研磨体験が出来ます。
衛生専門学校：毎回違う体験実習を用意しています。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により変更の可能性あります。

後援会総会

父母を会員とする歯学部後援会総会が6月10日(土)に本館大講堂(創設百周年記念講堂)にて開催された。開催に先立ち、名誉会長である本田和也学部長、西田香後援会会長より挨拶の後、林誠学務担当より学務関係に関する報告、宮崎真至学生担当より学生生活の活動に関する報告がなされた。また、大学本部から歯学部後援会に対して平成24年から本学が行った「日本大学創立130周年記念事業募金」に対し、歯学部後援会から多大な協賛を寄せられたことへの感謝状が贈呈された。



総会の議事である令和4年度決算及び事業報告、令和5年度予算及び事業計画、役員選出、会則の一部改正に関する件等すべての案件が承認されました。



その後学年別懇談会が行われ、学年主任、クラス担任及び学務

委員により学務に関すること学生生活に関することなどが報告された。新型コロナウイルスの蔓延のため平成31年春以降中止していた懇親会も実施された。

第3学年クラス担任変更

小泉寛恭准教授から、馬谷原琴枝准教授へ変更になりました。

主任	野間 昇	教 授	口腔内科学講座
担任	馬谷原 琴枝	准教授	歯科矯正学講座
担任	角田 麻里子	助 教	病理学講座
担任	西尾 健介	助 教	歯科補綴学第Ⅰ講座

馬谷原担任: コロナも落ち着き、だいぶ日常が戻ってきました。授業も対面に戻り、新しい体験や人とのつながりが増えてくると思います。また、3年生からは臨床にかかわる授業も増え、変化の多い年となるかと思っています。是非いろいろなことにチャレンジして有意義な生活を送ってください。

■ 附属専門学校が

歯科技工専門学校

本年度から歯科技工専門学校は、校長に歯科理工学講座小泉寛恭准教授、教務主任に総合歯科学分野竹内義真専任講師が就任されました。今春、16名の新入生をむかえることができ、第2学年は13名、第3学年は14名の計43名が在籍しております。第1学年は321講義室(旧第5講堂)、第2学年は322講義室(旧第6講堂)、第3学年は331講義室(旧第7講堂)で講義を受講し、全学年が第5実習室を使用して歯科技工実習を行っています。さらに、卒業生は科目等履修生制度を利用し、本大学歯学部で3名の学生が学士の取得を目指しています。学生が歯学部附属の特徴を生かしたカリキュラムや学外行事へ積極的に参加できるように、教職員一同が一丸となって支援してまいります。



歯科衛生専門学校

令和5年度の歯科衛生専門学校は、口腔内科学講座 教授 岡田明子校長、歯科保存学第Ⅱ講座 准教授 清水康平 教務主任、第3学年担任 満足愛 専任教員、副担任 矢野杏佳 専任教員、第1学年担任 鈴石雅子 専任教員、副担任 國井知余 専任教員、専門学校事務室 向井友美 主事の教職員スタッフで構成されスタートしました。令和5年度の在校生は現在、第3学年32名、第1学年34名の計66名となっています。第1学年は新しい環境に慣れるよう日々尽力し、第3学年は病院実習にて充実した日々をおくっています。5月18日に行われた第47回令和5年度日本大学歯学部球技大会では、第3学年が総合2位の栄誉に輝きました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、「5類」に移行した中での専門学校生活の開始であります。教職員一同、歯科衛生専門学校生が毎日充実したキャンパスライフを過ごせるように、全力でサポートおよび応援をしていきます。





熱中症に ならないために

気象庁の今夏の予報では、7月から8月は猛暑となり厳重警戒ランクの所が多い見込みです。暑い日が続くと心配なのは熱中症です。気温が高い、湿度が高い、急に暑くなった、風が弱い、こんな日は要注意です。

学生の皆さんによくある熱中症のパターンとして、①夜遅くまで課題やテスト勉強、ネット検索→②朝ギリギリまで寝ていて朝食を摂らずに慌てて登校→③暑い中満員電車に乗って猛ダッシュで学校へ→④熱中症となる事があります。こうならないための予防策として、①十分な睡眠②朝食を摂る③暑さを避ける工夫(涼しい服装、日傘や冷却グッズの使用)④こまめな水分と塩分補給があります。

めまいや頭痛、吐き気や汗が止まらないなどは熱中症の可能性があります。無理をせず涼しい場所で休息し、スポーツドリンク等で水分、塩分補給をしてください。

体調不良や心配なときは保健室(3号館1階)にご相談ください。

NewsPlus α

☆夏季期間中の図書館開館時間

以下の期間は夏季短縮期間となります。
7/26(水)～8/19(土) 9:00～17:00
土、日、祝日は閉館
詳細はHPのカレンダーをご覧ください。
<https://www.dent.nihon-u.ac.jp/library/>



☆定期健康診断

5月12日(金)・13日(土)に本学部生、大学院生及び専門学校生を対象として、コロナ感染症予防対策をとりながら内科健診、胸部X線間接撮影、尿検査、身長・体重測定等実施され、100%に近い受診率であった。

☆歯科病院ホームページリニューアル

ご利用される患者さんにとってより情報が探しやすく、わかりやすくお伝えできるようホームページをリニューアルいたしました。URLも以下のとおり変更しています。
<https://dentalhospital-nusd.jp/>



学 事

歯学部行事予定

- 8月 20日(日) 第3回進学相談会
- 9月 30日(土) 大学院歯学研究科入学試験(第1期)
- 10月 4日(水) 日本大学創立記念日
- 6日(金) 桜歯祭
- 7日(土) 桜歯祭
- 14日(土) 父母懇談会
- 21日(土) 外国人留学生選抜、編入学・転部試験

入学者選抜等

令和5年度歯学部入学者選抜(実績)

一般選抜	試験日	志願者数	受験者数
N全学統一方式第1期	令和5年2月1日(水)	243名	181名
N全学統一方式第2期	令和5年3月4日(土)	123名	97名
A個別方式	令和5年2月3日(金)	275名	251名
C共通テスト利用方式第1期	—	143名	131名
C共通テスト利用方式第2期	—	40名	40名

令和5年度大学院歯学研究科入学試験(実績)

		試験日	志願者数	受験者数
第1期	一般	令和4年10月1日(土)	1名	1名
	社会人		0名	0名
第2期	一般	令和5年3月4日(土)	21名	21名
	社会人		4名	4名

科学研究費助成事業交付決定者

☆基盤研究(B)

山本安希子 鏑田 武志 小林 真之 篠田 雅路
今井 健一

☆挑戦的研究(萌芽)

鏑田 武志

☆基盤研究(C)

山口 洋子 津田 啓方 中山 洸利 野間 昇
岡田 明子 林 誠 宮崎 真至 田邊奈津子
佐藤 秀一 二宮 禎 米山 隆之 小泉 寛恭
李 淳 小柳 裕子 澁田 郁子 白川 哲夫
田村 宗明 神尾 宜昌 鈴木 秀則 岡崎 章悟
岩田 幸一 藤田 智史 藤原 恭子 Cueno Marni
高山 忠裕 黒川 弘康 高見澤俊樹 鈴木 直人
大原 絹代 蓮池 聡 浦田健太郎 小峰 太
新井 嘉則 中嶋 昭 武市 収 山本 清文
人見 涼露 秋田 大輔 篠塚 啓二 中谷 有香
岡 俊一 林 良憲 松本 邦史 堤 博文
大橋 一徳

☆若手研究

尾崎 愛美 岩崎 太郎 角田麻里子 柴崎 翔
本田 順一 金子 啓介 川崎 詩織 荻澤 翔平
玉川 崇皓 福井 怜 石山 未紗 松村 幸恵
関 啓介 岡野 雅春

☆研究活動スタート支援

高橋 佑和 中村 純基 福井 怜

